

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	日本語コミュニケーションⅣ		(NKT22N)
講義名 (コード)	日本語コミュニケーションⅣ C		(NKT22NC)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実戦問題を解く。 後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。
授業時間外の学修	読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	実際の試験を理解できる①	模擬試験読解（2023年JLPT試験12月にむけて）
2	実際の試験を理解できる②	読解FB、模擬試験聴解（2023年JLPT試験12月にむけて）
3	実際の試験を理解できる③	聴解FB、短文について理解する
4	読：短い文を読んで意味が理解できる① 聴：絵や文章を見て内容を理科できる①	内容理解短文の演習①/課題理解の演習①
5	読：短い文を読んで意味が理解できる② 聴：絵や文章を見て内容を理科できる②	内容理解短文の演習②/課題理解の演習②
6	読：中文を読んで意味が理解できる① 聴：聴解から理由を聞き取ることができる①	内容理解中文の演習①/ポイント理解の演習①
7	読：中文を読んで意味が理解できる② 聴：聴解から理由を聞き取ることができる②	内容理解中文の演習②/ポイント理解の演習②
8	読：2つの文について比較できる ① 聴：聞き取った内容についてまとめることができる①	2つの文章について読み比べる演習①/長い聴解を聞き内容を留めておく練習
9	読：2つの文について比較できる ② 聴：聞き取った内容についてまとめることができる②	2つの文章について読み比べる演習②/長い聴解を聞き最も必要な情報を聞き取る①
10	読：2つの文について比較できる ③ 聴：聞き取った内容についてまとめることができる③	2つの文章について読み比べる演習③/長い聴解を聞き最も必要な情報を聞き取る②
11	読：短い時間で長文の意味を理解できる 聴：日常会話の返答について理解できる	長い文章を理解する練習/即時応答の演習①
12	読：筆者の主張について読み取れる 聴：長い聴解を横断的に理解する①	長い文章の中から筆者の主張を理解する練習/即時応答の演習②
13	読：グラフや表から内容を読みとれる 聴：長い聴解を横断的に理解する②	情報検索問題の演習/長い聴解から内容を横断的に聞き取り答えを選ぶ練習
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解 読解
参考文献・資料等	
備考	